

---

# 夢挨拶

珀志水

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

夢挨拶

### 【コード】

N3610R

### 【作者名】

珀志水

### 【あらすじ】

挨拶に挨拶を返しました

見ず知らずの人に

「おはようございます」

と、あいさつをされた。

とりあえず、

「おはようございます」

と、会釈を返せば、なぜか怪訝そうな顔をされた。

なぜそんな態度を取られるのか、よくわからないのでさっさと立ち去った。

通りすがりの売店のおばさんに

「こんにちは」

と、あいさつをされた。

「こんにちは」

と、会釈を返せば、ギロツと仇でも見るように睨まれた。

よくわからないどころか、何だが恐いので、足早にその場から立ち去った。

「こんにちは」

と、女の子にあいさつをされた。

あいさつを返すのも恐いので、会釈だけして立ち去ろうとした。途端、背中に強い衝撃が加えられた。

よくわからずに振り返ると、先ほどの女の子の頭の頂が見えた。

ジワリジワリと背中のある一点が熱を帯び始めた。  
痛みはないが、意識が朦朧とし始め、その場に音を立てて倒れた。  
見上げると、女の子の顔が見えた。

自分自身だった。

「おやすみなさい」

と、にんまりとした笑顔で言われ、意識を手放した。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3610r/>

---

夢挨拶

2011年3月5日01時44分発行